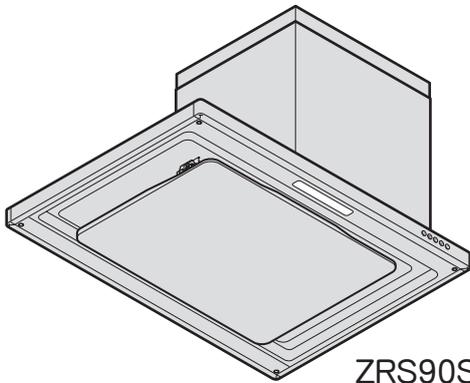
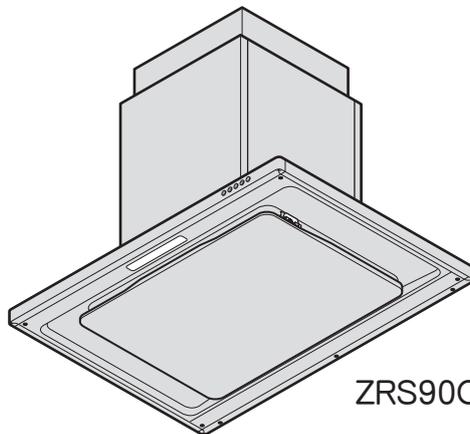


レンジフード 取扱説明書 保証書付



ZRS90SCD
※ 図はR仕様



ZRS90CCE

ZRS90SCD
ZRS90CCE

このたびは、クリナップ商品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、商品を安全に長い間ご使用いただくために、注意事項やお手入れ方法についてまとめたものです。

ご使用前に必ずお読みいただき、以後も手近に保管し、ご活用ください。

注意記号について	1
安全上のご注意	2～3
使用上のお願い	4
各部のなまえ	5
使いかた	6
お手入れのしかた	6～10
ファン・ベルマウスの はずしかた・組み立てかた	11～14
LED 照明の交換について	15
故障かなと思ったら	15
アフターサービス	16～17
仕様	17
廃棄処分について	17
保証書	18

注意記号について

この説明書には、安全や損害の発生につながる特に重要な注意には、△、⊘、●などの記号をつけて、大切な注意であることを示しております。

-  **警告** : 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
-  **注意** : 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

必ずお守りください

この安全上の注意をお読みの上、正しくお使いください

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しております。
- お読みになった後は、お使いになる方が、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造はしないこと

火災・感電・けがの原因となります

※ LED 照明はお客様ご自身でのお取り替えはできません

光源寿命を迎えた場合は必ず交換作業をご依頼ください



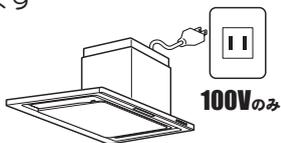
分解・修理・
改造禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと

火災・感電の原因となります



使用禁止

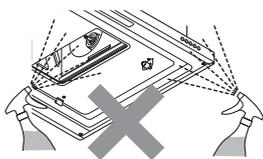


- 電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと

ショート・感電することがあります



水かけ禁止



- ガス漏れのときは、スイッチを操作しないこと
爆発・引火の原因となります



操作禁止

- お手入れの際は、レンジフードの運転を停止し、照明を消す

次に必ず分電盤のレンジフード専用ブレーカーを切ること

その際、ぬれた手で「入/切」しないこと

感電やけがをすることがあります



電源を切る



分電盤

- 電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は良くふくこと

火災の原因となります



ほこりをとる

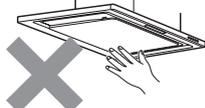
注意

- 調理中は、整流板や周辺の部品に手を触れないこと

整流板や部品が落下して、やけどやけがをすることがあります



接触禁止



- 運転中は指や物を絶対に入れないこと

けがをすることがあります



接触禁止



安全上のご注意 (続き)

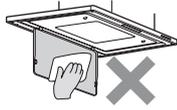
⚠ 注 意

- 整流板を本体から取りはずさず、図のような状態でお手入れをしないこと

落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります



禁 止



- 点灯中の LED 照明を直視しないこと

目を痛めることがあります



直視禁止

- LED 照明およびその周辺には、手を触れないこと

高温になるため、やけどをすることがあります



接触禁止



- 本体に異常な振動が発生した場合、使用しないこと

本体、部品の落下によりけがをすることがあります



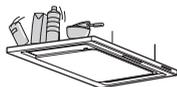
使用禁止

- レンジフードの上に物を置かないこと

落下してけがをしたり、火災や故障の原因となります



禁 止



- 調理中、油に火がついたときは、運転を止めること

運転をしていると、火の勢いがよけいに強くなり危険です



運転停止

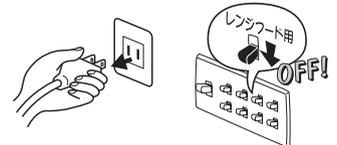


- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のレンジフード専用ブレーカーを切ること

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります



プラグを抜く



- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと

コードに傷がつき、火災や感電の原因となります



プラグを持って抜く



- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること

鋼板の切り口や角でけがをすることがあります



手袋をする



- 部品の取り付けまたは取りはずしの際は、部品を落とさないように両手でしっかりと支えること

落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります



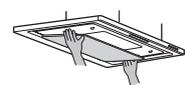
落下注意

- お手入れの際に、はずしたファンや部品の取り付けは確実に起こすこと

落下によりけがをすることがあります



取付注意



使用上のお願い

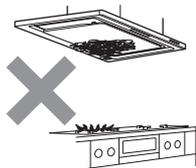
- 調理機器を使用するときは、必ずレンジフードを運転してください

運転しないとフード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因となります



- 調理機器の空焚きは絶対にしないでください

製品の損傷や高熱による故障の原因となります



- エアコンの風が直接あたらないようにしてください
風を受けると、吸い込みが悪くなります
オープンな場所では特にフードから漏れやすくなります

- 部屋の扉や窓からの風が強い場合には、横風等の影響で煙の捕集性能が悪くなる場合があります
レンジフード近辺の扉や窓からの横風等の影響がないようにしてください

- IHクッキングヒーター（電気コンロ）使用時、レンジフードがあたたまりにくいため、結露（水滴）が生じることがあります
お手数ですがその際は滴下する前に、調理中の鍋などによるやけどに注意して、ふき取ってご使用ください
特に冬期など気温の低い状況では結露が発生しやすくなります

- グリル付の調理機器と合わせて使用する場合、グリル排気口から出る煙によって、壁パネルもしくはレンジフード下面が結露することがあります
この場合は調理中の鍋などによるやけどに注意して、ふき取ってご使用ください

- キッチンの気温が低いときに使用された場合にはレンジフードの表面が結露することがあります
結露した場合は、調理中の鍋などによるやけどに注意して、ふき取ってご使用ください

- 整流板をはずして使用しないでください
吸い込みが悪くなります

- LED照明を点灯しているとき、近くでテレビやラジオを使用されますと、雑音が入る場合があります

その際はテレビやラジオを遠ざけるか、またはテレビやラジオの向きを変えてください

- LED照明は明るくなるまでに時間がかかります
また、点灯後しばらくは明るさや光色が若干変化します

- 市販のフィルターに交換したり、重ねて使用しないでください

吸い込みが悪くなり、異音・振動が発生する場合があります
性能を維持するため、専用の金属製グリスフィルター（製品にあらかじめセットしてあるもの）をご使用ください



- レンジフードの運転中は給気をおこなってください

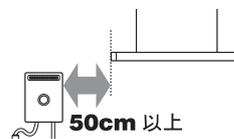
レンジフードの反対側の壁に空気の取入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください

空気の取り入れが不十分ですと換気性能が低下したり、レンジフードに異音・振動が発生する場合があります



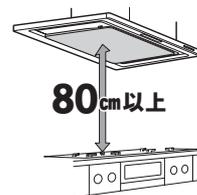
- 湯沸器はレンジフードから50cm以上離してください
レンジフードの下部には湯沸器を絶対に取り付けしないでください

製品の損傷や高熱による故障の原因となります



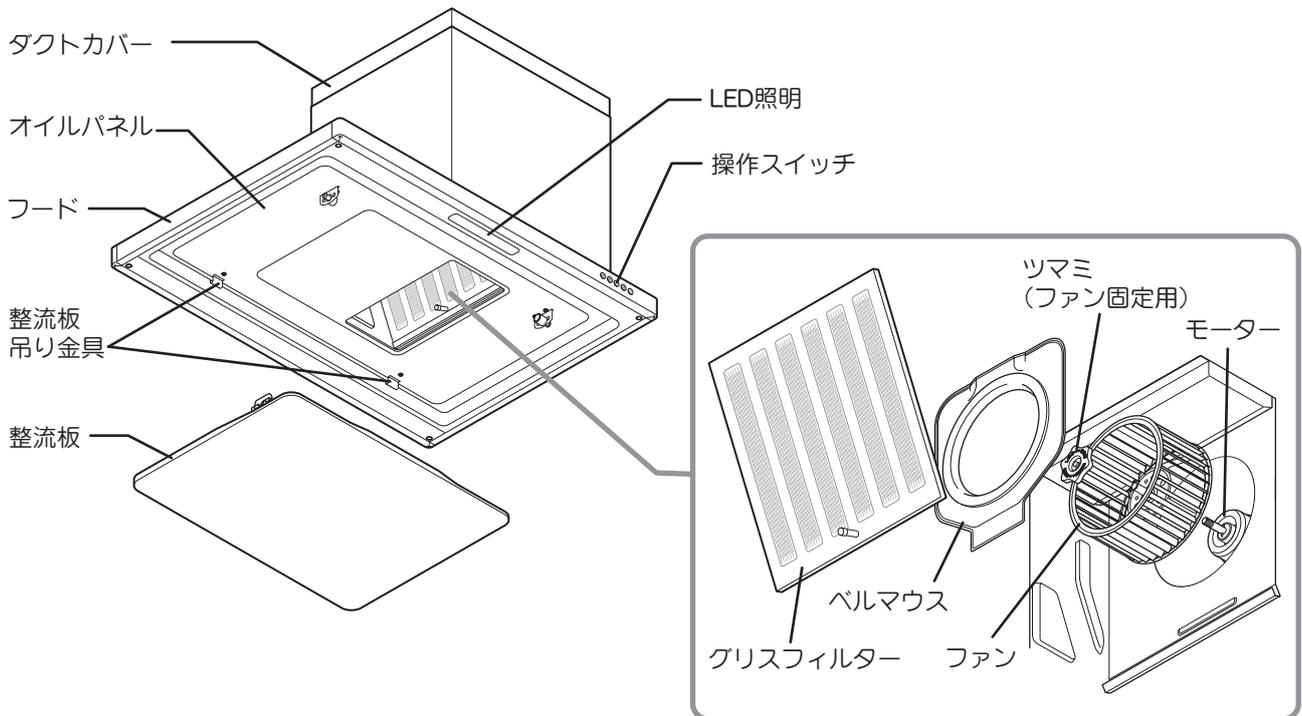
- 調理機器の真上、80cm以上に取り付けてあるか確認してください

火災予防のため、グリスフィルターの下端が調理機器の真上、80cm以上に設けてください

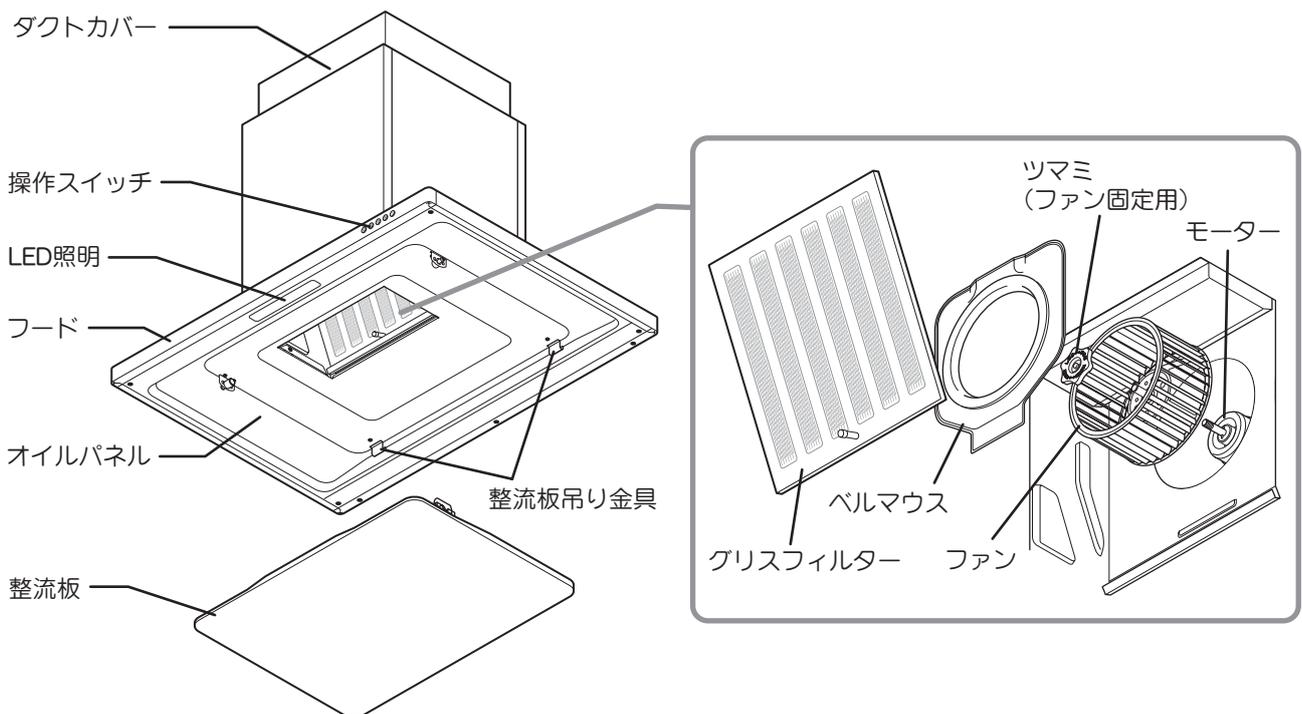


各部のなまえ

■ シンプルスリムJタイプフード (サイドタイプ) ZRS90SCD ※図はR仕様を表します。



■ シンプルスリムJタイプフード (センタータイプ) ZRS90CCE



使いかた

■ スイッチのボタンを押します。



- 切…………… 運転が停止します。(LED 照明は消えません)
- 弱…………… 煙の少ないとき、静かに運転したいとき。
- 中…………… 通常の運転のとき。
- 強…………… 煙の多いとき、早く換気したいとき。
- ☀ …… LED 照明が点灯します。(スイッチを押すたびに点灯／消灯を繰り返します)

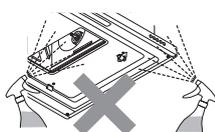
お手入れのしかた

警告

- 電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと
ショート・感電することがあります



水かけ禁止



- ぬれた手でスイッチを操作しないこと
- 調理機器の使用中は絶対にお手入れはしないこと
感電やけがをすることがあります



必ず守る

- お手入れの際は、レンジフードの運転を停止し、照明を消す
次に必ず分電盤のレンジフード専用ブレーカーを切ること



電源を切る

感電やけがをすることがあります



分電盤

完了後は分電盤のレンジフード専用ブレーカーを入れてください

注意

- お手入れの際に、はずしたファンや部品の取り付けは**確実に**おこなうこと
落下によりけがをすることがあります



取付注意



- 部品の取り付けまたは取りはずしの際は、部品を落とさないように両手でしっかりと支えること
落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります



落下注意

- お手入れの際は、必ず**厚手の手袋**をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります



手袋をする



- 取りはずしや取付作業を台の上に乗っておこなう場合は、必ず**安定した台の上に乗って**おこなうこと
バランスをくずして倒れ、けがをすることがあります
※ カウンターの上に乗って作業をおこなうことは絶対にしないでください



落下注意

お手入れのしかた (続き)

お手入れの際のお願い

- **調理直後のお手入れはしない**
 - ・ 調理直後はレンジフードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- **お手入れはこまめにする**
 - ・ 油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因となります。(変質がひどいと擦っただけではがれることがあります)
 - ・ 特に、グリスフィルターは汚れやすいので、1ヶ月に1回程度の頻度でお手入れしてください。早めにお手入れいただきますと、汚れも簡単に落とせると同時に塗装面の劣化も防げます。
- **中性洗剤を使う**
 - ・ お手入れの際には、台所用中性洗剤をご使用ください。右図のものを使用されますと、塗装面が変色したり、傷が付いたり、はがれたりすることがあります。
- **熱湯は変形のもと**
 - ・ 60℃以上の熱湯は使用しないでください。樹脂部品が変形することがあります。
- **専用のグリスフィルター（製品にあらかじめセットしてあるもの）を使う、他のフィルターを重ねない**
 - ・ 専用のグリスフィルター以外のフィルターを使用したり、他のフィルターを重ねたりすると、通気抵抗が大きくなり、吸い込み不良や異音発生、故障などの原因となります。また、金属以外のフィルターをご使用になると火災の原因となることがありますので、それらの使用は絶対にやめてください。
- **ファンを変形させない**
 - ・ ぶついたり、落としたりして変形したファンで運転すると、振動や異音が発生することがあります。
- **ファンをはずした状態では運転しない**
 - ・ ファンをはずした状態で運転しないでください。モーターが過熱して故障の原因となります。
- **食器洗い乾燥機は使用しない**
 - ・ 取りはずした部品は食器洗い乾燥機で洗わないでください。塗装はがれることがあります。



こまめにお手入れしてください。

油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、油が固まって汚れが落ちにくくなります。

特にフード・整流板・オイルパネル・グリスフィルターは1ヶ月に1回程度の頻度でお手入れしてください。

(ご使用の状況により、汚れの具合が異なります。)

油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因となります。

早めにお手入れいただきますと汚れも簡単に落とせ、塗装面の劣化も防げます。

お手入れ時期の目安

■ フード・整流板・オイルパネル・グリスフィルター

1ヶ月に1回程度を目安にお手入れをしてください。

汚れが気になる場合は、その都度お手入れしてください(8~10ページ参照)。

■ ファン・ベルマウス

ファン・ベルマウスのお手入れは、レンジフードを長期間お使いになった、汚れが目立つなど、気になった場合におこなってください(11~14ページ参照)。

お手入れのしかた (続き)

整流板・グリスフィルターのはずしかた

⚠ 注意

- 整流板を本体から取りはずさずに、図のような状態でお手入れをしないこと
落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります



禁止



- 部品の取り付けまたは取りはずしの際は、部品を落とさないように両手でしっかりと支えること
落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります



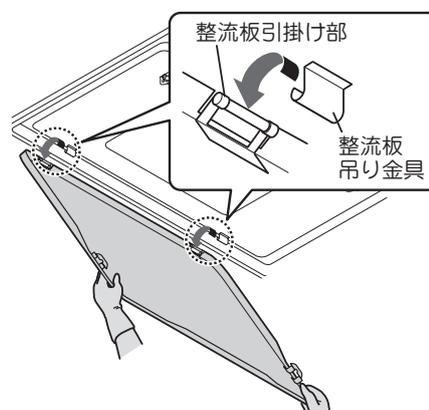
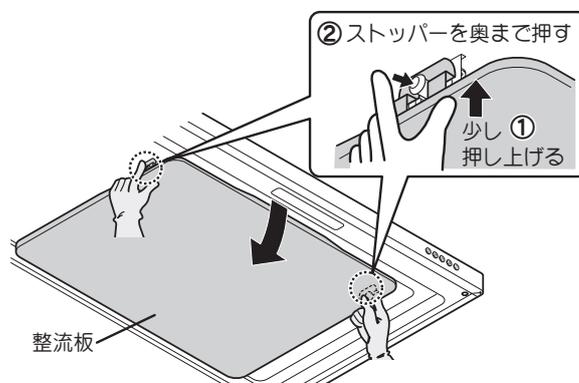
落下注意

1 整流板をはずします。

- ① 整流板の左右を両手でしっかりと支え、少し押し上げます。
- ② 左右のストッパーを押し込みながらゆっくりと10cm程度おろした状態で、整流板の後ろを持ち上げ、整流板吊り金具からはずして手前へ取りはずします。

お願い

- 取りはずしの際は、整流板に油や水滴がたまっている場合がありますので、油や水ダレに十分ご注意ください。
- 整流板をはずす際は、コンロ上に調理器具などを置かないでください。
- 整流板のお手入れの際は、整流板引掛け部や整流板吊り金具を変形させないようにご注意ください。
変形させてしまった場合、整流板が取り付けなくなることがあります。
- 取りはずしの際は、必ず左右同時にはずしてください。整流板吊り金具の変形の原因となります。

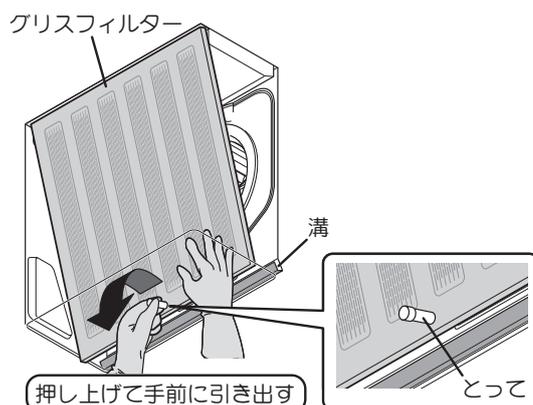


2 グリスフィルターをはずします。

グリスフィルターのとつてを持ち、上に押し上げて下側の溝からはずし、手前に引き出します。

お願い

取りはずしの際は、グリスフィルターに油や水滴がたまっている場合がありますので、油や水ダレに十分ご注意ください。



お手入れのしかた (続き)

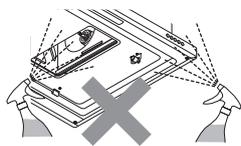
警告



水かけ禁止

- 電気部品(モーター・スイッチ等)は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと

ショート・感電することがあります



注意



手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります



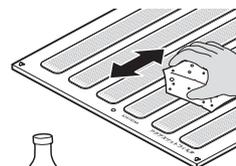
フード・整流板・オイルパネル・グリスフィルターの洗いかた

■ グリスフィルター

中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸しながら表面のやわらかいスポンジなどで洗ってください。

汚れがひどいときは中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけ置きしたのち表面のやわらかいスポンジなどで洗ってください。

汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。



中性洗剤

お願い

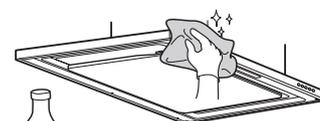
- 研磨剤入りの洗剤・研磨粒子入りの洗淨具(不織布など)や金属タワシなどで表面をこすらないでください。
- 汚れの落ちやすさについては、ご使用条件によって異なります。
- 有機溶剤は使用しないでください。
- 油料理の頻度が高い場合や、長期間にわたりフィルターのお手入れをされなかった場合、フィルターへの油付着が多くなり、油が垂れ落ちて整流板の裏にたまることがあります。
- 目詰まりを放置すると、換気不良や異音・振動の原因となります。

■ フード・整流板・オイルパネル

中性洗剤溶液に浸した布で汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないよう、水を湿らせた布で洗剤を良くふき取ってください。

特に本体の下端部は汚れが付きやすいのでこまめにふき取ってください。

※ふき掃除の際は、ベルマウスの脱落やフィルター固定部などの突起に注意してください。



中性洗剤

お願い

- はずした整流板は平らな面でお手入れしてください。(変形・傷の原因となります。)
- 研磨剤入りの洗剤・研磨粒子入りの洗淨具(不織布など)や金属タワシなどで表面をこすらないでください。
- 汚れの落ちやすさについては、ご使用条件によって異なります。
- 有機溶剤は使用しないでください。



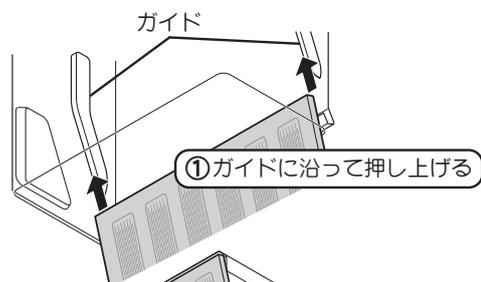
中性洗剤

お手入れのしかた (続き)

整流板・グリスフィルターの組み立てかた

1 グリスフィルターを取り付けます。

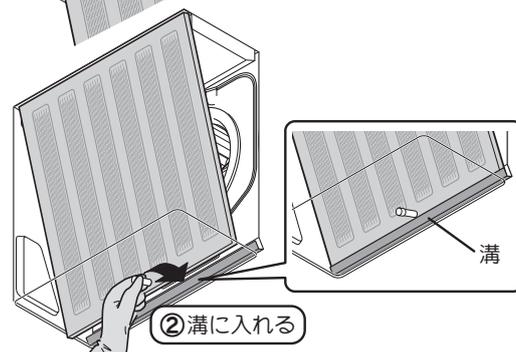
- ① グリスフィルターを左右のガイドに沿って押し上げます。



- ② グリスフィルターの下側を溝に入れます。

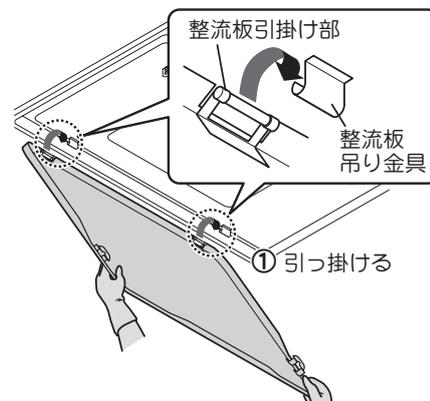
お願い

グリスフィルターが確実に固定されたことを確認してください。



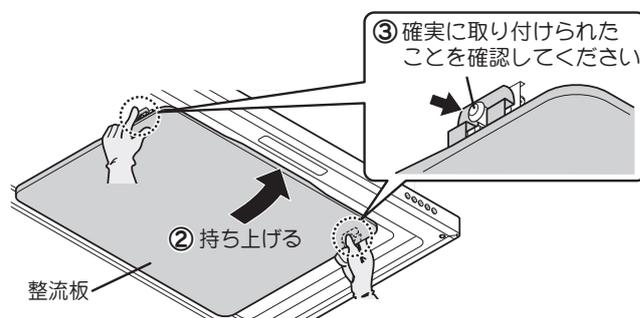
2 整流板を取り付けます。

- ① 整流板の引掛け部を整流板吊り金具に引っ掛けます。
- ② 整流板を両手でしっかりと支えながらゆっくりと手前側を上を持ち上げ、左右のストッパーを押しながらロックします。
- ③ 整流板を軽く上下に動かしてみても確実に取り付けられたことを確認してください。



お願い

- 取り付けの際は、必ず左右同時に取り付けてください。整流板吊り金具の変形の原因となります。
- 取り付けの際は、コンロ上に調理器具などを置かないでください。



ファン・ベルマウスのはずしがた・組み立てがた

ファン・ベルマウスのお手入れは、レンジフードを長期間お使いになった、汚れが目立つなど、気になった場合に次の手順でおこなってください。

警告

- 電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと
ショート・感電することがあります



水かけ禁止

- ぬれた手でスイッチを操作しないこと
- 調理機器の使用中は絶対にお手入れはしないこと
感電やけがをすることがあります



必ず守る

- お手入れの際は、レンジフードの運転を停止し、照明を消す
次に必ず分電盤のレンジフード専用ブレーカーを切ること
感電やけがをすることがあります



電源を切る



分電盤

完了後は分電盤のレンジフード専用ブレーカーを入れてください

注意

- お手入れの際に、はずしたファンや部品の取り付けは確実にこなうこと
落下によりけがをすることがあります



取付注意



- 部品の取り付けまたは取りはずしの際は、部品を落とさないように両手でしっかりと支えること
落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります



落下注意

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります



手袋をする



- 取りはずしや取付作業を台の上に乗っておこなう場合は、必ず安定した台の上に乗っておこなうこと
バランスをくずして倒れ、けがをすることがあります
※ カウンターの上に乗って作業をおこなうことは絶対にしないでください



落下注意

ファン・ベルマウスのはずしかた・組み立てかた (続き)

ファン・ベルマウスのはずしかた

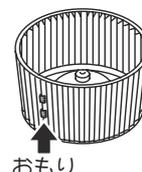
1 整流板・グリスフィルターをはずします。
「整流板とグリスフィルターのはずしかた」
(8ページ)を参照し、取りはずしてください。

2 ベルマウスをはずします。
ベルマウスを上押し上げ、下側を溝からはずし、
両手でしっかりと支えながら手前に引き出します。



3 ファンをはずします。
お願い

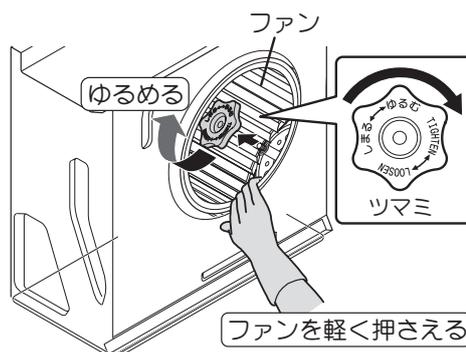
ファンの回転バランスをとるために、おもり (クリップ状の金具) がついて
いる場合がありますが、絶対にはずしたり、ずらしたりしないでください。
(バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異音の原因となります。)



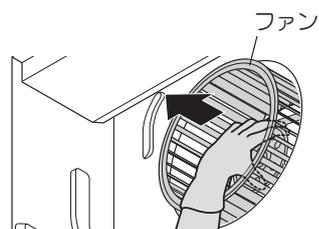
① ファンが回らないように軽く手で押さえ、つまみを
「ゆるむ」(時計回り)の方向に回してはずします。

お願い

- ファンは軽く押さえてください。
強く押さえると変形することがあります。
- ファンをぶついたり、落としたりして変形
させないでください。



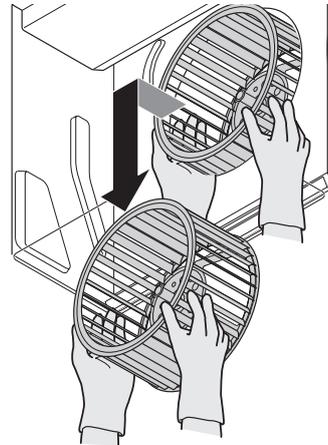
② 右図のようにファンの中央部を持ち、少し手前に
引き出します。



ファン・ベルマウスのはずしかた・組み立てかた (続き)

ファン・ベルマウスのはずしかた

- ③ ファンを両手で持ちかえてしっかりと持ち、取り出します。



ファン・ベルマウスの洗いかた

本体からはずして、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸しながら表面のやわらかいスポンジなどで洗ってください。
汚れがひどいときは中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけ置きしたのち表面のやわらかいスポンジなどで洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。



中性洗剤

お願い

- 金属ブラシやタワシなどの固いものは、処理面を傷付けますので使用しないでください。
- ファンを強く押さえたり、ぶつかけたり、落としたりして変形させないでください。
(異音や振動の原因となります。)
- ファンの回転バランスをとるために、おもり（クリップ状の金具）が付いている場合がありますが、絶対にはずしたり、ずらしたりしないように洗ってください。
(バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異音の原因となります。)
- 汚れの落ちやすさについては、ご使用条件によって異なります。
- 有機溶剤は使用しないでください。

ファン・ベルマウスのはずしがた・組み立てかた (続き)

ファン・ベルマウスの組み立てかた

1 ファンを取り付けます。

① ファンを両手でしっかりと持ち、本体開口部にファンを差し入れます。

② ファン裏面の溝がモーター軸のシャフトピンに合うように差し込みます。

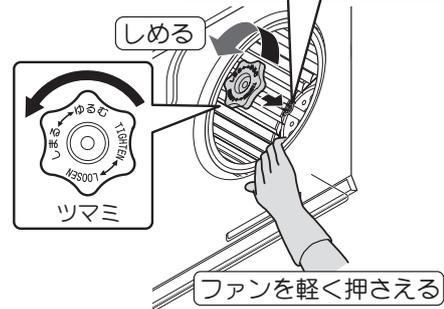
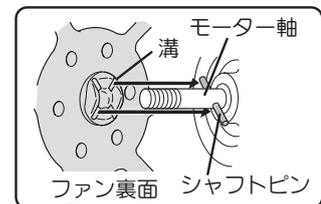
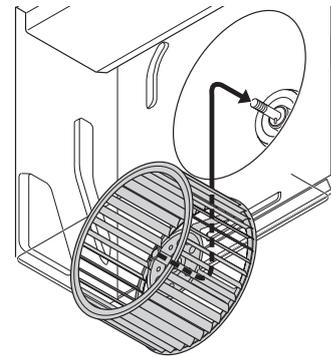
お願い

ファンを取り付けるときは、ファン裏面の溝がシャフトピンに合うように差し込んでください。溝がシャフトピンに合っていないと異音や落下によりけがをすることがあります。

③ ファンが回らないように軽く手で押さえ、ツマミを「しめる」(反時計回り)の方向に回してしっかりと締め付けます。

お願い

ファンは軽く押さえてください。強く押さえると変形することがあります。

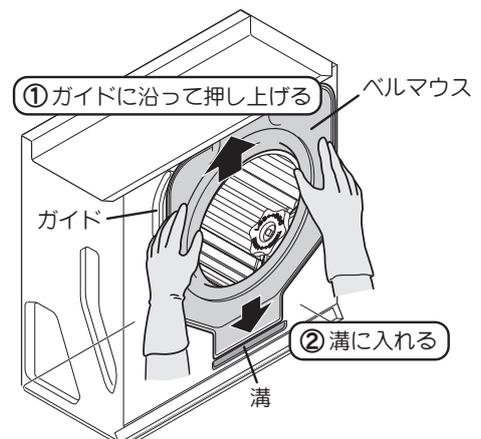


2 ベルマウスを取り付けます。

ベルマウスを両手でしっかりと持ちながら、本体開口部にベルマウスを差し入れます。ガイドに沿って上側へ押し上げ、ベルマウス下側を溝に入れます。

お願い

溝にしっかりと差し込んでください。ベルマウスの落下の原因となります。



3 グリスフィルター・整流板を取り付けます。

「整流板とグリスフィルターの組み立てかた」(10ページ)を参照し、取り付けてください。

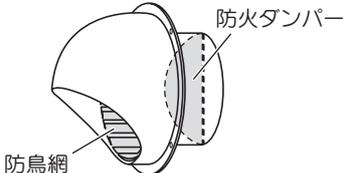
LED 照明の交換について

LED光源は蛍光灯や電球などのようにお客様ご自身でのお取り替えはできません。
光源寿命を迎えた場合は必ず交換作業をご依頼ください。

- ※ LED照明は約4万時間の点灯で、約70%の照度になります。
- ※ 照明器具の寿命は使用条件、取付条件などにより変化します。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に 次の点をもう1度お調べください。

症状	考えられる原因	処置
<ul style="list-style-type: none"> ● スイッチを入れてもファン・照明の電源が入らない。 ● ファンがまわらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 分電盤のブレーカーが切れている。 ● 電源プラグがはずれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 分電盤のブレーカーを「入」にする。 ● 電源プラグを差し込む。
<ul style="list-style-type: none"> ● 照明がつかない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● コネクターの接触不良か、コネクターがはずれている。 ● 照明器具が寿命を迎えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 修理を依頼する。
<ul style="list-style-type: none"> ● 異音がする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ファンのツマミが緩んでいる。 ● ベルマウスの取り付けが不十分。 ● ファンの取り付けが不十分。 ● グリスフィルターが汚れて目詰まりしている。 ● 給気が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ファンのツマミを締め直す。(14 ページ参照) ● ベルマウスを取り付け直す。(14 ページ参照) ● ファンを取り付け直す。(14 ページ参照) ● グリスフィルターをお手入れする。(9 ページ参照) ● 窓・給気口を開け十分な給気を確保する。
<ul style="list-style-type: none"> ● 吸い込みが悪い。 ● 運転音が異常に大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市販のフィルターを重ねている。 ● グリスフィルターが汚れている。 ● 給気が十分でない。 ● エアコンや窓からの風があたっている。 ● 屋外の防火ダンパーが閉じていて、排気されない。 ● 屋外のベントキャップの防鳥網が目詰まりしている。  <p>The diagram shows a cross-section of a vent cap. It features a circular opening at the top with a mesh screen (防鳥網) inside. Below the mesh is a vertical sliding door (防火ダンパー) that can be closed to prevent fire from spreading. The diagram is labeled with '防鳥網' (bird net) and '防火ダンパー' (fire damper).</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 市販のフィルターをはずす。 ● グリスフィルターをお手入れする。(9 ページ参照) ● 窓・給気口を開け十分な給気を確保する。 ● 風があたらないようにする。 ● 修理を依頼する。 ● 防鳥網をお手入れする。

アフターサービス (必ずお読みください)

補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切後6年間保有しています。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または裏表紙のクリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

●製品の保証期間は、お買い上げ後、取扱説明書、本体貼付ラベルの注意書に従った正常のご使用状態において1年間です。

ただし、次の場合には、保証期間内でも有料になります。

- (1) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等不慮の事故により生じた故障および損傷。
- (2) 使用上の誤り、改造等による故障および損傷。

修理を依頼される時は

出張修理

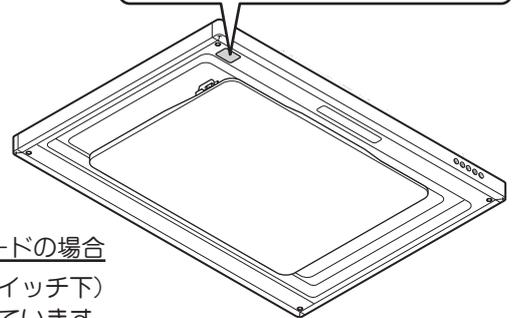
15 ページに従ってお調べいただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜くか、分電盤のブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店、または裏表紙のクリナップカスタマーセンターまでお申し出ください。

ご連絡していただきたい内容

品名	レンジフード
形名	
製造番号	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

お買い上げの際に記入しておくことでサービスを依頼される時に便利です。

レンジフードの形名は、オイルパネルの横前方に表示してあります。



右壁面取付タイプ・センターフードの場合
左壁面取付タイプは反対側（スイッチ下）
に表示しています。

愛情点検



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても、動かないときがある。
- 運転中に異音や振動がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他、異常・故障がある。

ご使用中

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

★長年ご使用の製品の点検を

アフターサービス (続き)

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※ 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。

【設計上の標準使用期間】10年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※ 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※ 設計上の標準使用期間は、無償保障期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

● 「経年劣化とは」長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件

日本産業規格 JIS C 9921-2 より引用

環境条件		電圧	単相 100V	
		周波数	50Hz 又は/及び60Hz	
		温度	20℃	JIS C 9603参照
		湿度	65%	JIS C 9603参照
		設置条件	標準設置	取付・設置説明書による
負荷条件			定格負荷 (換気量)	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 ^{a)}	台所 2 410時間/年	
注 a)		常時換気 (24時間連続換気) のものは、8 760時間/年とする。		

仕 様

形名	定格電圧 (V)	ノッチ	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m ³ /h)		騒音 (dB)	製品質量 (kg)
					0Pa時	100Pa時		
ZRS90SCD	100	強	50	100	510	420	47	25.5
			60	120	490	430	46	
		中	50	64	365	-	39	
			60	68	320	-	36	
		弱	50	28	175	-	23	
			60	28	155	-	21	

形名	定格電圧 (V)	ノッチ	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m ³ /h)		騒音 (dB)	製品質量 (kg)
					0Pa時	100Pa時		
ZRS90CCE	100	強	50	100	510	420	47	28.0
			60	120	490	430	46	
		中	50	64	365	-	39	
			60	68	320	-	36	
		弱	50	28	175	-	23	
			60	28	155	-	21	

消費電力、風量、騒音の測定はJIS C 9603による。

騒音値、風量は実際の使用条件では変化しますのでご了承ください。

レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

廃棄処分について

- この商品を廃棄処分される場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

保証書

◎ 関連機器用

シリーズ・品番	ZRS90SCD・ZRS90CCE			出張修理	
保証期間	取付・設置日から1年間	取付・設置日	年	月	日
★お客様	ご住所	TEL ()			印 またはサイン
	お名前				
★販売店	住所 店名				



無料修理規定

★印欄に記入がない場合は、商品に貼付されている検査済証に記載のロットNo.などから確認できる製造年月日により、保証期間の開始日を認定させていただきます。

本保証書は、取付・設置日から本保証書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は無料修理になりますので、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。

2. 修理が保証期間中の無料修理に該当するかどうか、また、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

3. ご転居の場合の修理依頼先は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

4. 保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

- (1) 使用上の故意・過失または不適切な修理や、改造による故障および損傷。
- (2) 消耗部品(照明の管球、グローランプ、パッキンなど)の取り替えや修理、ストレーナーのゴミづまりなどによる故障および損傷。
- (3) お買い上げ後の取付・設置場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
- (4) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)による故障および損傷。
- (5) 車両、船舶などに取付・設置された場合に生じる故障および損傷。
- (6) 仕上げの傷などで、お引き渡し時に申し出がなかったもの。
- (7) 瑕疵によらない自然の損耗、サビ、カビ、変質、変色、その他類似の事由による場合。
- (8) 維持管理の不備による汚れ、サビ、給水管、排水管のつまりなどの不具合。
例えば、塩素系の洗剤、漂白剤、ヌメリ取り剤の使用によるシンク、カウンターのサビや腐食。
- (9) 第三者による管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。
例えば、ハウスクリーニング業者が指定の洗剤以外のクリーニング剤を使用してシンク、カウンター、扉などに変色や腐食が生じた場合、また、禁止されている方法で洗浄剤などを噴霧あるいは塗布したことによって機器の作動不良が生じた場合。
ならびに、浄化槽や洗浄剤から発生するガスによるシンクや金属部品の腐食。
- (10) タバコの火、商品を傷める薬品(有機溶剤、塩素系洗剤、強酸、強アルカリ性洗剤など)の使用により、発生した損傷。
- (11) 犬・猫・鳥・鼠などの小動物や虫などの害に起因する故障および損傷。
- (12) 取付・設置説明書に記載された方法以外の取付・設置、または工事内容に起因する故障および損傷。
- (13) 建築躯体の変形(強度不足、ゆがみ)など商品以外の不具合に起因する故障および損傷。
- (14) 異常電圧や指定外の燃料・電源(電圧・周波数)の使用および異常水質による故障および損傷。
- (15) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合。
- (16) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
- (17) 取付・設置完了後、引き渡し日までの間の管理などの不備による故障および損傷。
- (18) 保証期間経過後に申し出があった、もしくは、保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかった故障および損傷。
- (19) 本保証書のご提示がない場合。
- (20) 本保証書に取付・設置年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合(領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません)、あるいは字句を書き換えられた場合。
- (21) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。

5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

6. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※本保証書は、明示した期間、条件の基において無料修理をお約束するものです。

したがって、本保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※修理記録(年月日、修理内容、修理者名など)については、修理の際に修理伝票をお渡しいたしますので、大切に保管してください。

ご相談窓口 : クリナップカスタマーセンター TEL 0120-126-174

クリナップ株式会社
〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22

● 廃棄処分のしかた

この商品を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

● アフターサービスのご用命

ご使用にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または下記クリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

- お電話でのご用命

0120-126-174

クリナップカスタマーセンター

通話料
無料

- インターネット窓口(クリナップホームページ内)

<https://cleanup.jp/support/>

右の2次元コードで【お客様サポートサイト】へ



受付時間 9:00～17:00

- * 9:00～11:00および12:00～13:00は混みあいます。
- * 1月1日(元日)はお休みさせていただきます。
- * 諸般の事情により営業日、受付時間が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- * インターネット窓口では、Q&A(よくあるご質問)をご紹介します。
- 修理、お問い合わせは専用ページでも受付しております。

お電話は、内容の確認と商品機能やサービスの質の向上などを目的として、記録・録音させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針は<https://cleanup.jp/>に公表しております。

**レンジフードフィルターなどの
訪問販売に関するご注意**

クリナップの名前をかたって、レンジフードの交換用フィルターなどを訪問販売したり、電話で注文を取ろうとする業者がありますが、当社とは一切関係ございませんので十分ご注意ください。

クリナップ株式会社

〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22

2202A-20-47